家畜の病気の診断をしています
（病性鑑定室BSE部門）

山口農林事務所畜産部
平成23年６月９日

山口農林事務所畜産部病性鑑定室では、県内で死亡した24か月齢以上の牛について、牛海綿状脳症(BSE)の検査を行っています。

BSEは牛の脳組織にスポンジ状の変化を起こし、起立不能などの症状を示す疾病です。国内では平成13年に千葉県で発生してから、これまで36例が確認されています。

死亡した牛の延髄(えんずい)(脳の一部)を取り出し、エライザ法という検査方法でBSEの原因となる異常プリオン蛋白質の有無を調べています。

平成22年度は384頭の検査を実施し、すべて陰性でした。また、これまで県内でBSEの発生は確認されていません。

今後も、病性鑑定室は県内の家畜衛生向上のため、各種検査を実施していきます。

エライザ法による検査

検査結果の診断